

平成21年度

相模原市立博物館 年報



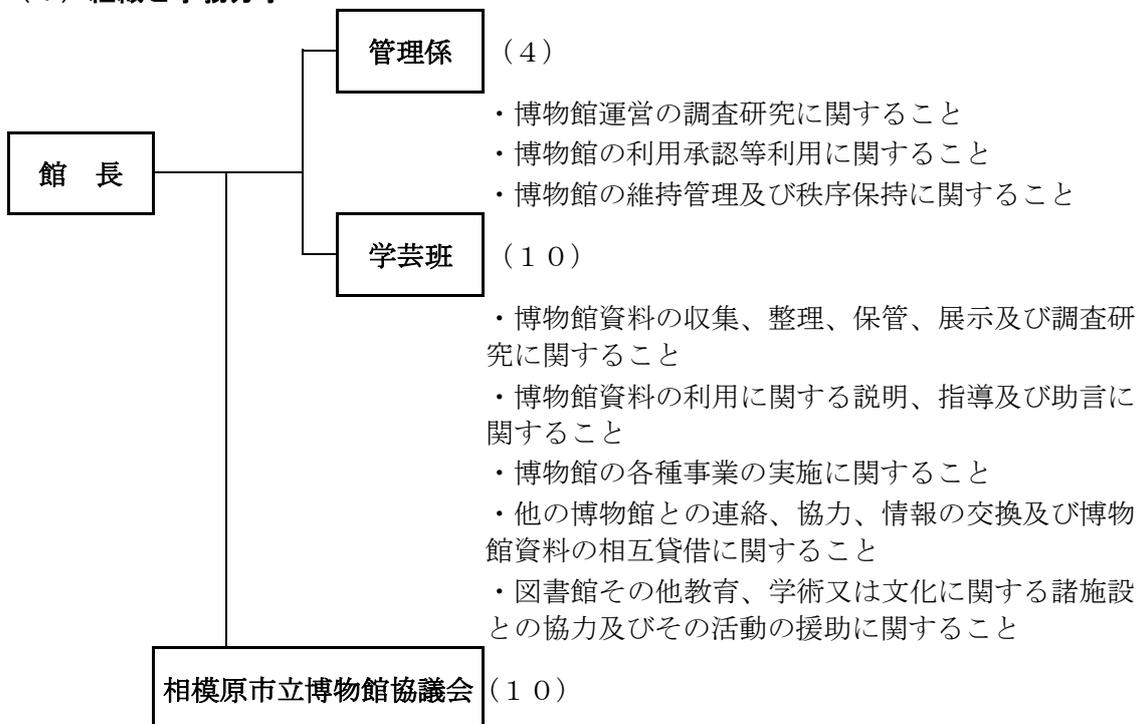
相模原市立博物館
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

平成22年4月1日

I 管理運営

1 組織及び職員

(1) 組織と事務分掌



(2) 職員

	(平成22年3月31日現在)		(平成22年4月1日現在)	
館長	井上 明夫		井上 明夫	
管理係	主幹(兼)管理係長	武井 邦夫	企画情報班	木村 知之
	主査	天野 光洋		上原 徹也
	主査	岡本 正明		天野 光洋
	主任	高取 英徳		岡本 正明
				高取 英徳
				金井 理代
				横山 正
学芸班	担当課長(学芸班担当) (学芸員)	杉本 芳秋 (天文)	学芸班	杉本 芳秋
	指導主事	上原 徹也 (近現代)		土井 永好
	指導主事	平能 克泰 (天文)		有本 雅之
	主査	有本 雅之 (天文)		加藤 隆志
	主査	千葉 勝也		秋山 幸也
	主査(学芸員)	加藤 隆志 (民俗)		河尻 清和
	主査(学芸員)	秋山 幸也 (生物)		河本 雅人

主任(学芸員) 河尻 清和 (地質)
主任(学芸員) 河本 雅人 (考古)
主任(学芸員) 塩谷 裕久 (情報)

市史編さん班 三樹 聖一
佐藤 洋二
塩谷 裕久
(町史担当) 守屋 博文
(町史担当) 井上 泰
(町史担当) 加藤 康雄

非常勤特別職 学習指導員 2名 学習指導員 2名
博物館資料調査員 3名 市史編さん特別顧問 1名
市史編さん調査員 2名

2 博物館協議会

(1) 趣 旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

(2) 委員構成 任期2年

平成19年11月20日～平成21年11月19日

氏 名	備 考	選出区分
岡 田 利恵子	小学校教諭	学校教育
田 口 雅 代	中学校教諭	
坂 口 滋 皓	高等学校教諭 会長	
市 川 三 郎	市民文化財研究協議会	社会教育
田 中 美奈子	市立小中学校PTA連絡協議会	
中 村 ひろ子	神奈川大学大学院特任教授	学識経験者
松 島 義 章	放送大学客員教授 副会長	
中 川 貴 雄	宇宙科学研究本部教授	
石 井 千太郎	一般公募	
中 藪 規 正		

平成21年11月20日～平成23年11月19日

氏 名	備 考	選出区分
加 瀬 加寿恵	小学校教諭	学校教育
坂 口 滋 皓	高等学校教諭 会長	
川 井 義 則	市文化財研究協議会会長	社会教育
田 中 美奈子	市立小中学校PTA連絡協議会 副会長	
格 地 悦 子	市女性学習グループ連絡協議会広報	家庭教育
小 瀬 康 行	東京家政学院大学教授	学識経験者
青 木 雄 司	県立宮ヶ瀬ビジターセンター館長	
矢 野 創	宇宙科学研究本部固体惑星研究系助教	
永 田 基 浩	一般公募	
白 井 暁 彦		

(3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	7月 2日 (木)	平成20年度事業報告 平成21年度事業計画 博物館ネットワーク計画「さがみはらどこでも博物館」について 常設展示リニューアル計画について
2	9月30日 (水)	博物館ネットワーク計画「さがみはらどこでも博物館」について
3	12月 4日 (金)	会長及び副会長の選出 博物館協議会の概要、活動内容について 博物館の概要について
4	3月 2日 (火)	平成20年度、平成21年度の活動状況に関する評価について

3 施設

(1) 施設概要

ア 敷地面積	9,999.48㎡
イ 構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋造
ウ 規模	地下1階・地上3階建て
エ 建築面積	5,081.03㎡
オ 延床面積	9,510.24㎡

用途・面積	主な室	内 容
展示・教育 展示スペース (1,907㎡)	自然・歴史展示室 (1,170㎡)	「川と台地と人々の暮らし」をテーマに5つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分かりやすい展示がされている。
	天文展示室 (127㎡)	「宇宙の中のわたしたち」をテーマに、地球・太陽・恒星について理解を深められるよう展示がされている。
	特別展示室 (487㎡)	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。
	実習実験室 (90㎡)	各種講座・観察会等を開催 6卓 48席
学習スペース (453㎡)	情報サービスコーナー (127㎡)	郷土の自然や歴史に関する記録映像、参考図書を収集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。
	大会議室 (237㎡)	各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容
	プラネタリウム (648㎡)	プラネタリウム (648㎡) 室内に250席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径23mのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像(全天周映画)を上映できる。
保管・研究 研究スペース (1,038㎡)	市民研究室 (294㎡)	自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。
	天体観測室 (74㎡)	口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。
	整理作業室ほか	博物館資料の整理・加工・修理や調査研究を行うための諸室が設置されている。
	収蔵スペース (1,570㎡)	特別収蔵庫ほか 各分野別資料を将来にわたって、安全・確実に保存するための収蔵庫が設置されている。

平成21年度相模原市立博物館年報

管理・共用	管理・共用 スペース (3,894㎡)	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	休憩コーナーや軽食のとれる喫茶室、博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。
-------	---------------------------	-------------------------	---

(2) 施設管理

施設の設備管理、警備、清掃業務は外部委託している。
消防訓練 平成22年1月22日

4 予算

(単位：千円)

款	項	目	科目名	21年度予算額	22年度予算額	財源内訳	21年度
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	2,000	3,000	一般財源	2,000
						特定財源	0
50	20	45	博物館費	230,158	238,449	一般財源	209,415
						特定財源	20,743
			計	232,158	241,449		

生涯学習施設維持補修費

節		説明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
1 1 需用費	2,000	経費内訳		
			21年度	22年度
		1 施設修繕料	2,000	3,000
	計 2,000	計	2,000	3,000

博物館費

節		説明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
0 1 報酬	7,492	経費内訳		
0 4 共済費	953		21年度	22年度
0 8 報償費	6,270	1 博物館協議会経費	532	260
0 9 旅費	964	2 施設運営費	86,867	40,002
1 1 需用費	65,980	(1) 資料収集保存経費	5,264	5,069
1 2 役務費	1,193	(2) 資料調査研究経費	13,311	990
1 3 委託料	127,385	(3) 展示・教育普及事業経費	19,427	3,116
1 4 使用料及び賃借料	19,082	(4) プラネタリウム事業経費	48,463	30,425
1 8 備品購入費	692	(5) その他運営費	402	402
1 9 負担金、補助及び交付金	125	3 施設維持管理費	141,332	153,947
2 7 公課費	22	4 市史編さん事業		43,228
		(1) 相模原市史編さん事業		32,799
		(2) 津久井町史編さん事業		10,429
		5 一般事務費	1,427	1,427
	計 238,069	計	230,158	238,499
	合計 251,669	合計	232,158	241,449

Ⅱ 教育普及

1 入館者数

(1) 21年度計 **136,000人**
(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(2) 総計 **1,749,515人**
(平成7年11月20日～平成22年3月31日)

(3) 詳細

月	入館者数	プラネタリウム総数	一般投影	全天周映画	学習投影	特別展	星空観望会	講演会講座等	観覧料	開館日数	1日平均
21年4月	7,974	2,264	899	1,365	-	4,745	81	220	¥689,950	25	319
5月	12,082	4,194	1,733	1,941	520	4,511	94	24	¥1,261,970	27	447
6月	10,067	2,711	830	661	1,220	5,986	108	180	¥661,370	25	403
7月	21,433	6,121	2,577	3,014	530	12,459	217	3,072	¥1,846,260	27	794
8月	20,768	10,587	3,101	7,486	-	12,302	281	577	¥3,394,700	26	799
9月	8,754	3,089	1,240	1,556	293	826	143	221	¥1,053,740	26	337
10月	8,554	2,860	908	1,116	836	5,002	236	347	¥811,480	27	317
11月	11,655	3,893	667	717	2,509	5,746	145	2,769	¥497,900	24	486
12月	7,168	3,519	689	727	2,103	-	167	197	¥503,710	23	312
22年1月	8,853	3,919	1,238	1,493	1,188	1,987	133	365	¥1,006,980	24	369
2月	9,193	3,709	1,152	1,399	1,158	5,466	99	775	¥903,000	23	400
3月	9,499	3,674	1,424	1,634	616	5,623	142	734	¥1,048,100	26	365
21年度計	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973	64,653	1,846	9,681	¥13,679,160	303	449

※(参考) 開館からの総計

7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	¥11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	¥18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	¥12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696	¥12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255	¥15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258	¥11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574	¥14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277	¥12,221,160	303	393
15年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873	¥13,904,050	302	418
16年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148	¥11,562,090	300	372
17年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725	¥12,776,280	301	387
18年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649	49,588	773	6,896	¥14,321,720	303	375
19年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746	58,218	925	8,245	¥13,369,000	304	403
20年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517	¥13,831,800	303	423
21年度	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973	64,653	1,846	9,681	¥13,679,160	303	449
総計	1,749,515	750,598	284,248	313,097	153,253	663,158	14,582	86,334	¥201,583,780	4,327	404

2 企画展・学習資料展等

(1) 夏季企画展「スキスキ大スキ!カエル展」

ア 内容 女子美術大学、100年カエル館(福島県喜多方市)、松橋利光氏(写真家)とのコラボレーションにより、生物とアートの両面からカエルをとらえ、紹介した。

イ 期間 5月30日(土)～8月30日(日)

ウ 観覧料 無料

エ 広報 ポスター500枚、チラシ30,000枚

	リーフレット	15,000枚	
	さがみはら自然ガイド「カエルみつけた」	2,000部	
	さがみはら自然ガイド(両生類6種類)	各2,000部	
オ	関連事業	参加者総数：783人	
	5月30日(日)	展示解説 解説 当館学芸員	参加者：35人
	6月20日(土)	ミュージアムトーク「カエ〜ル大学のケロロジー講座」 講師 高山ビッキ氏(100年カエル館学芸員)	参加者：28人
	6月28日(日)	記念講演会「トノサマガエルになる方法 〜日米の文学と環境をめぐって」 講師 アーサー・ビナード氏(詩人)	参加者：132人
	7月20日(祝)	展示解説 解説 当館学芸員	参加者：36人
	7月26日(日)	記念講演会「かえるといっしょー世界で見る世界のかえる」 講師 松橋利光氏(写真家)	参加者：102人
	7月29日(水)	ワークショップ「カエルの折り紙」 講師 女子美術大学メディアアート学科 市民学芸員	参加者：152人
	8月5日(水)	ワークショップ「1本の針金でつくるカエル」 講師 女子美術大学メディアアート学科 市民学芸員	参加者：154人
	8月22日(土)	ミュージアムトーク「カエ〜ル大学のケロロジー講座」 講師 高山ビッキ氏(100年カエル館学芸員)	参加者：15人
	8月27日(水)	ワークショップ「カエルの折り紙」 講師 女子美術大学メディアアート学科	参加者：129人
カ	コンテスト「カエルアートコンテスト」		
	応募数	218点	
		一般の部 平面24点、立体26点 子どもの部 平面120点、立体48点	
	審査員	高山ケロリ氏(100年カエル館館長)、高山ビッキ氏(カエルタイムス編集長)、羽太謙一女子美術大学教授、女子美術大学学生代表(カエルプロジェクト)、岡本実教育長、井上明夫博物館長	
	表彰	各部門ごとに平面及び立体それぞれ最優秀賞1点、優秀賞3点を選出し、全体で教育長賞1点、カエルタイムス賞1点を選出	
	表彰式	5月30日(土)	
	作品展	企画展と同時開催	

(2) 企画展「市民と歩いた横浜への道」

ア	内容	横浜開港150周年に合わせ、開港が地域社会に与えた影響について紹介した。また、民俗調査会に参加する市民と協働して、相模湖駅から横浜関内地区までフィールドワークを行い、その成果を展示した。
イ	期間	9月26日(土)～11月23日(祝)
ウ	観覧料	無料

- エ 広 報 ポスター500枚 チラシ10,000枚
リーフレット 5,000枚
- オ 関連事業 参加者総数：586人
- 9月27日（土） 第1回「市民と歩いた横浜への道発表会」
参加者： 61人
発表者 民俗調査会会員
- 10月11日（日） 繭うさぎ作り
参加者：113人
指導 市民学芸員
- 10月18日（日） 展示解説
参加者： 6人
解説 当館学芸員
- 10月25日（日） 日曜講演会「横浜開港と生糸が運ばれた道」
参加者：155人
講師 西川武臣氏（横浜開港資料館主任調査研究員）
- 10月31日（土） 展示解説
参加者： 4人
解説 当館学芸員
- 11月1日（日） 第2回「市民と歩いた横浜への道発表会」
参加者： 47人
発表者 民俗調査会会員
- 11月8日（日） 繭うさぎ作り
参加者：154人
指導 市民学芸員
- 11月14日（土） 展示解説
参加者： 7人
解説 当館学芸員
- 11月22日（日） 第3回「市民と歩いた横浜への道発表会」
参加者： 39人
発表者 民俗調査会会員

(3) 学習資料展「～大地さんと未来さんが見つける～ちょっと昔のくらしⅥ

戦争中から戦後の生活」

- ア 内 容 収蔵されている資料を中心に、学校の授業で活用できるような道具やモノを展示し、昔のくらしについて紹介した。
- イ 期 間 1月23日（土）～〔平成22年4月4日（日）〕
- ウ 観覧料 無料
- エ 観覧者 14,024人
- オ 広 報 ポスター 500枚、チラシ10,000枚
- カ 事 業 参加者総数：1,240人
- 2月7日（日） ぼうち唄、農具体験
参加者：200人
演者・解説 ぼうち唄保存会
- 2月11日（木） チャレンジ体験
参加者：255人
指導 市民学芸員
- 2月14日（日） 展示解説
参加者： 20人
解説 当館指導主事
- 2月21日（日） チャレンジ体験
参加者：230人
指導 市民学芸員
- 2月28日（日） 記念講演会「発明家エジソンの音を聴こう！」
参加者： 70人
講師 下藺大輔氏（町田少年少女発明クラブ企画指導員）
- 3月7日（日） チャレンジ体験
参加者：285人
指導 市民学芸員

3月14日(日)	展示解説 解説 当館指導主事	参加者： 10人
3月21日(日)	映像で見よう“昭和の相模原” 映写 相模原市16ミリ映画研友会	参加者：105人
3月29日(日)	“昔の遊び”実験教室 指導 市民学芸員	参加者： 65人

(4) ミニ展示「フェルトアニマルズ」

- ア 内容 身近な素材であるフェルトを使用してつくる動物のぬいぐるみをとおして、動物への親しみを感じてもらい、あわせて女子美術大学出身で相模原市と関わりのある、ぬいぐるみの製作者のいなだ千紗氏について紹介した。
- イ 期間 第1期 9月8日(火)～9月20日(日)
第2期 11月25日(水)～1月11日(祝)

3 講座・講演会・教室・観望会等の事業

(1) 民俗講座「民俗に親しむ会」(18年度～継続事業・全36回)

- ア 内容 月に1回程度、館内の講義とフィールドワークを行い、民俗学的視点から地域を捉えていくことを学んだ。
- イ 実施日 4月11日(土)～6月13日(土)全3回
- ウ 参加者 延べ 114人(36回分の参加者は1601名)
- エ 講師 加藤隆志(当館学芸員)

(2) 地質学講座「250万年前の地層を巡る - 中津層群の地質 - 」

- ア 内容 相模野台地の土台をなす地層は約250万年前の地層である中津層群について講話や観察を通して、中津層群の地質学的な意義について理解を深めた。
- イ 実施日 5月10日(日)～6月7日(日)全4回
- ウ 参加者 延べ 87人
- エ 講師 河尻清和(当館学芸員)

(3) 博物館日曜講演会

- ア 内容 第4日曜日に外部研究者や当館学芸員等の講演、成果発表を行い、幅広い学術的視点や今日的課題等の学習機会を提供した。
- イ 実施日 5月24日(日)～2月28日(日)全9回
- ウ 参加者総数：延べ 1,151人
- エ 演題・参加者・講師
- 第77回「関東山地の形成～中央構造線沿いの地質の成り立ち」
参加者：123人
講師 高木秀雄氏(早稲田大学教授)
- 第78回「トノサマガエルになる方法～日米の文学と環境をめぐって」
参加者：132人
講師 アーサー・ビナード氏(詩人)
- 第79回「かえるといっしょ～写真でみる世界のかえる」
参加者：102人
講師 松橋利光氏(写真家)
- 第80回「古墳時代の水辺の祭祀」
参加者：112人
講師 梶山林繼氏(國學院大學教授)

- 第81回「横浜開港と生糸が運ばれた道」 参加者：155人
講師 西川武臣氏（横浜開港資料館主任調査研究員）
- 第82回「小田原北条氏と津久井内藤氏」 参加者：200人
講師 黒田基樹氏（駿河台大学准教授）
- 第83回「縄文集落の景観復元—土器分析と年代測定からのアプローチ」
参加者：127人
講師 小林謙一氏（中央大学准教授）
- 第84回「PLANET—Cあかつき～地球の双子星金星の謎を探る～」
参加者：130人
講師 佐藤毅彦氏（JAXA宇宙科学研究本部教授）
- 第85回「発明家エジソンの音を聴こう！」 参加者：70人
講師 下藪大輔氏（町田市少年少女発明クラブ企画・指導委員）

（4）月ってステキ！観望会

- ア 内容 天体観測室の機材を公開し、月の観察をとおして広く市民に天文知識の普及を図った。
- イ 実施日 7月3日（金）全1回
- ウ 参加者 51人
- エ 講師 平能克泰（当館指導主事）、市民学芸員

（5）夏休み子ども学習相談

- ア 内容 小中学生を対象に夏の自由研究などのアドバイスをした。
- イ 実施日 7月17日（金）～8月30日（日）
- ウ 参加者 延べ 171人
- エ 講師 当館指導主事、学芸員、学習指導員

（6）博物館で日食を見よう

- ア 内容 観測室及び駐車場を市民と共に日食を見る場として開放し、天文学への教育普及を図った。
- イ 実施日 7月22日（水）全1回
- ウ 参加者 400人
- エ 対応 当館職員、市民学芸員

（7）JAXA一般公開関連事業

- ア 内容 広く市民に自然科学の楽しさを広めることを目的とし、JAXA相模原キャンパス公開日にあわせ、全天周映画3D MOON上映会、講演会、スタンプラリーを開催した。
- イ 実施日 7月24日（金）、25日（土）全2回
- ウ 参加者 延べ 3,900人
- エ 対応 JAXA職員、当館職員、市民学芸員

（8）子ども鉱物教室「鉱物のふしぎ」

- ア 内容 実験や観察を通して結晶成長や結晶形、硬度など、鉱物についての初歩を学習し、鉱物への興味を深めた。
- イ 実施日 7月30日（金）、8月6日（金）全2回
- ウ 参加者 延べ 61人
- エ 講師 河尻清和（当館学芸員）、相模原地質研究会

(9) 夏休み親子天文教室

- ア 内容 望遠鏡の仕組み等の講話と望遠鏡工作、自作の望遠鏡で天体観測まで行うことで、天文への興味、関心を高めた。
- イ 実施日 8月6日(水)全1回
- ウ 参加者 65人
- エ 講師 杉本芳秋(当館学芸員)、平能克泰(当館指導主事)、星を観る会、市民学芸員

(10) スターウォッチング

- ア 内容 星空を一定の条件下で観察することにより、夜間照明などの環境について目を向けるとともに広く地球規模での環境保全の対策を市民と共に考えた。
- イ 実施日 8月21日(金)、1月15日(金)全2回
- ウ 参加者 延べ47人
- エ 講師 平能克泰(当館指導主事)、プラネタリウム解説員
- オ 協力 相模原の環境をよくする会(事務局:市環境対策課)

(11) 市民学芸員基礎講座

- ア 内容 博物館の展示や普及事業のサポートや企画運営に関わるボランティアの養成をした。
- イ 実施日 8月26日(水)～10月21日(水)全6回
- ウ 参加者 延べ121人
- エ 講師 当館職員

(12) 「宇宙の日」作文絵画コンテスト

- ア 内容 自然科学への関心を高める機会として、青少年を対象に、「宇宙大ハッケン!!」をテーマとした絵画や作文を公募・審査した。(文部科学省ほか主催する「宇宙の日」作文絵画コンテストに参加)
また、当館応募作品予備受賞作品を展示、公開した。
- イ 期間 公募:4月10日(金)～7月31日(金)
展示:10月31日(土)～11月29日(日)
- ウ 応募者 作文3人、絵画32人

(13) 植物学教室「花の観察と植物画」

- ア 内容 植物をじっくりと科学的に観察し、それを水彩絵具で描く技法を学んだ。
- イ 実施日 10月3日(土)、10月4日(日)全2回
- ウ 参加者 延べ46人
- エ 講師 豊田路子氏(植物画家)、秋山幸也(当館学芸員)

(14) 考古学講座「境川沿いの遺跡を歩く」

- ア 内容 境川沿いの街中にある遺跡を訪ね、身近なところに遺跡が存在していることを実感するとともに、郷土の歴史について理解を深めた。
- イ 実施日 11月15日(日)～12月20日(日)全5回
- ウ 参加者 延べ128人
- エ 講師 河本雅人(当館学芸員)、相模原縄文研究会

(15) プラネタリウムを楽しむ日

- ア 内容 博物館開館記念日に近接する土日を「プラネタリウムを楽しむ日」とし、プラネタリウムを無料で上映した。

- イ 実施日 11月21日(土)～23日(月・祝)全3回
- ウ 参加者 延べ 1,766人
- エ 案内 当館職員、市民学芸員

(16) 博物館クイズラリー

- ア 内容 自然・歴史及び天文常設展示室の内容を問題に設定し、クイズラリー形式で、小学生を中心とした来館者に展示内容を知らせる機会とした。
- イ 実施日 11月22日(日)、23日(月・祝)全2回
- ウ 参加者 延べ 497人
- エ 案内 河本雅人(当館学芸員)、市民学芸員

(17) 子ども天文教室

- ア 内容 青少年の自然科学への興味・関心に対応する講話・実習・見学を実施し、天文学への関心を高めた。
- イ 実施日 3月6日、13日、20日、27日(土)全4回
- ウ 参加者 延べ 48人
- エ 講師 並木道義氏(JAXA宇宙科学技術センター特任担当役)、平能克泰(当館指導主事)、星を観る会

(18) 原始体験教室「親子まが玉作り教室」

- ア 内容 まが玉作りを体験的に学習した。
- イ 実施日 3月22日(土)、3月29日(土)、3月30日(日)全3回
- ウ 参加者 延べ 70人
- エ 講師 河本雅人(当館学芸員)、相模原縄文研究会

(19) 星空観望会

- ア 内容 季節に応じた天体観測により天文知識の普及を図った。
- イ 実施日 金曜日(プラネタリウム休止時などを除く)
- ウ 参加者 延べ 1,799人(38回実施)
- エ 対応 当館職員、プラネタリウム解説員

(※) 市史講演会 ※市史編さん室主催事業

- ア 内容 相模原市史編さん事業に関連する内容で講演を行った。
- イ 実施日 9月19日(土)、3月27日(土)全2回
- ウ 参加者総数：延べ 237人
- エ 演題・参加者・講師
 - 「化石から読み解く 約250万年前の相模原の自然」 参加者：104人
講師 松島義章氏(放送大学教育教授)
 - 「日本歴史の中の相模原―津久井地域―(2)」
講師 神崎彰利氏(市史編さん室特別顧問) 参加者：133人

4 プラネタリウム・全天周映画

(1) 平成21年度観覧者合計 50,540人

(2) 一般投影(プラネタリウム)

- ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約50分)
- イ 番組 「月ってステキ！」

- [平成21年1月24日(土)]～6月21日(日)
「日食～太陽がくれる日～」
7月11日(土)～8月30日(日)
「今年の世界天文年～ガリレオが見た宇宙～」
9月1日(火)～11月1日(日)
「HTV～日本の宇宙ステーション補給機～」
11月3日(火)～12月27日(日)
「火星人をさがせ！」
1月5日(火)～2月28日(日)
「もっと知りたい土星のなぞ～カッシーニが見たリングと衛星～」
3月2日(火)～[4月29日(木・祝)]
- ウ 開始時間 平日…午後3時50分(※7月11日以降、午後3時30分)
土・日・祝日・特別上映期間…午後1時30分と午後3時50分
(※7月11日以降、午後1時30分と午後3時30分)
- エ 観覧者 16,458人

(3) 全天周映画

- ア 内容 大型映像の全天周映画作品を上映(所要約50分)
- イ 番組 「インド：トラの王国」
[平成21年1月14日(水)]～6月21日(日)
「まじめにふまじめかいけつゾロリ宇宙たんけん大きくせん」(特別上映)
[平成21年3月20日(祝)]～4月5日(日)
「銀河鉄道の夜」
7月11日(土)～[平成22年7月16日(金)]
「ガンダム新体験 - 0087 - グリーンダイバーズ」(特別上映)
7月18日(土)～8月30日(水)
「ナットのスペースアドベンチャー」(特別上映)
8月4日(火)～8月30日(日)、9月19日(土)～9月23日(祝)、12月19日(土)～1月11日(祝)、3月20日(土)～3月30日(水)
「宇宙一直線」
9月5日(土)～12月13日(日)
「HAYABUSA」
1月16日(土)～3月14日(日)
- ウ 開始時間 平日…午後2時40分(※7月11日以降、午後2時30分)
土・日・祝日・特別上映期間…午前10時50分と午後2時40分
(※7月11日以降、午前11時と午後2時30分)
- エ 観覧者 23,109人

(4) 学習投影

- ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組
- イ 番組 小中学校向け 「月の形と動き」
「星の動き(夏/冬)」
「空を見上げると(夏/冬)」
「太陽と惑星」
「太陽系の仲間たち」
「月の形と動き」
幼児向け 「うちゅうの七にんきょうだい」

「ピーターパンのぼうけん」

「ぼくらのうちゅうりょこう～ダーツでめぐる銀河の旅～」

ウ 投影時間 事前に利用団体と調整し、平日の午前1回、午後1回（最大）投影
エ 観覧者 10,973人

(5) 広報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・パンフレットを作成

5 その他

(1) 情報サービスコーナー

ビデオ作品年間視聴回数	計	340回
DVDライブラリー作品年間視聴回数	計	983回
CD-ROM文庫のソフト年間閲覧回数	計	36回

6 学校と博物館の連携を進める研究会

(1) 趣旨

学校教育の場で児童・生徒の多様な学習要求に応じた幅広い学習活動充実のために、博物館の効率的かつ積極的な利用を図り、博物館の持っている機能を十分に生かす学校と博物館の連携のあり方を研究・協議する機関。

(2) 委員構成 任期2年（平成20年7月1日～平成22年6月30日）

氏名	備考
高橋 純	千木良小学校総括教諭 委員長
山口 和弘	弥栄中学校教諭 副委員長
畠山 智也	谷口台小学校教諭
木村 毅	弥栄小学校総括教諭
田中 泰子	陽光台小学校総括教諭
松島 和博	田名中学校総括教諭
清水 久也	大沢中学校総括教諭

(3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	7月10日（金）	各研究員のテーマ及び担当学芸員の決定、打合せ 貸し出し方法についての検討 館内施設及び夏季企画展見学
2	11月17日（火）	「博物館貸し出しキット」の具体的検討 研究の進捗状況（各研究員及び担当学芸員より） 利用方法の検討 秋季企画展見学
3	2月24日（水）	研究の成果物の発表、進捗状況の報告、完成へ向けて 利用方法、周知及び配布方法の検討、 学習資料展見学

7 広報・出版等

(1) 印刷物・刊行物

- ア 企画展・学習資料展のポスター・パンフレット等
- イ プラネタリウム・全天周映画のポスター・パンフレット等
- ウ 博物館NEWS (Vol. 55～Vol. 58)
- エ 「相模原市立博物館研究報告第19集」

(2) 有償刊行物一覧 (平成22年3月31日現在)

博物館と市役所行政資料コーナーで販売

売上総計 303,470 円

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
----	------	------	------

ア、特別展・企画展図録等

郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	7 11	完売
江南の至宝	¥1,300	8 2	完売
相模原の昆虫－身近にいる小さな仲間たち－	¥350	8 4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	8 11	完売
絵図から地形図へ－近代地形図の誕生と発展－	¥2,550	9 7	完売
太陽系－母なる太陽とその家族を巡る－	¥700	9 11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	10 9	完売
水生昆虫の世界－水の中の小さな虫たち－	¥1,200	11 7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	11 10	完売
花を描き、花を知る－植物画の魅力－	¥1,200	12 7	完売
幕末・維新の相模原－村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち－	¥1,500	12 10	完売
星の測量－角度をはかり、位置をもとめる－	¥700	13 7	4
”道”再発見－道の役割とその移りかわり－	¥1,500	13 10	13
昆虫のふしぎ	¥500	14 7	10
水晶ってすばらしい！－その美と実用の魅力－	¥1,000	15 7	6
晃嶺の百花譜	¥1,500	16 7	1
相模原－その開発と変貌－	¥800	16 10	40
地球46億年	¥900	17 7	8
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	18 10	16

イ、報告書等

研究報告第7集 1999	¥850	10 3	完売
研究報告第8集 2000	¥850	11 3	完売
研究報告第9集 2001	¥900	12 3	完売
研究報告第10集 2002	¥900	13 3	完売
研究報告第11集 2002	¥850	14 3	完売
研究報告第12集 2003	¥900	15 3	0
研究報告第13集 2004	¥900	16 3	0
研究報告第14集 2005	¥900	17 3	1
研究報告第15集 2006	¥1,050	18 3	1
研究報告第16集 2007	¥1,150	19 3	2
研究報告第17集 2008	¥1,150	20 3	5
研究報告第18集 2009	¥700	21 3	28
資料集 順席 (慶応三年)	¥800	10 3	完売
博物館資料調査報告書 古山の生業と伝承	¥600	10 3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島地区の自然と文化	¥900	10 3	完売
地図資料目録I 相模原市作成の地図	¥1,000	11 3	完売

地図資料目録Ⅱ 一般図・主大図・地形図	¥1,200	12	3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	13	3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	¥600	14	3	4
資料目録4 テフラ標本目録	¥850	15	3	2
資料目録5 相模原植物誌Ⅰ	¥600	15	3	2
古淵B遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	17	3	1
博物館所蔵古文書目録	¥900	17	3	3
境川流域民俗調査報告書	¥500	17	3	完売
博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫	¥1,700	20	3	5
さがみはら自然ガイド カエル見つけた！！	¥180	21	5	474
ウ、展示解説書				
常設展示解説書	¥1,000	8	11	82

(3) 他の機関等との関連

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館等へ送付し、掲示を依頼した。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、新聞・雑誌・タウン誌等のメディアなどへ記事・パンフレットなどの情報を提供した。

また、Yahoo JAPAN!、livedoor、@nifty、BIGLOBE各サイトへイベント情報を提供した。

ウ 放送番組ロケ

J-COM、FMさがみなど博物館を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。

8 博物館学芸員実習

学芸員資格習得のための実習として、8月4日～9月30日の内実質8日間に21人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

分野	学校名	人数	分野	学校名	人数	
歴史	お茶の水女子大学	1	生物	東京農業大学	1	
	日本大学	2		工学院大学	1	
考古	青山学院大学	1		神奈川工科大学	1	
	女子美術大学	1		東京造形大学	1	
	大正大学	1	駒澤大学	1		
民俗	学習院大学	1	地質	八州学園大学	1	
	立命館大学	1		東京造形大学	1	
	神奈川大学	1		首都大学東京	1	
				天文	東京工芸大学	1
			東京女子大学		1	
			日本女子大学		1	
			東京造形大学		1	
					計	21

9 学習利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム学習投影、展示学習、職業体験等）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

平成21年度相模原市立博物館年報

月	件数	人数	月	件数	人数	月	件数	人数	
4月	5	205	8月	6	100	12月	25	2,342	
5月	10	566	9月	5	291	1月	21	1,577	
6月	29	1,713	10月	20	1,113	2月	33	2,061	
7月	11	662	11月	36	2,706	3月	18	1,102	
							年計	219	14,438

10 博物館職員の講師依頼等

市内各公民館・小中学校等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した。(これに類するものも記載) 延べ 45件 48回

	演題等	依頼者	月 日	場 所	担 当
1	第3学年の総合的な学習(人間と昆虫・植物の共生)	市立清新小学校	6月17日(水)	清新小	秋山幸也
2	第4学年の理科学習「夜空を見よう」	市立作の口小学校	7月3日(金)	作の口小	平能克泰
3	PTA 親子講習会(天体望遠鏡を作り、天体を知る)	市立大沼小学校	7月4日(土)	大沼小・大沼広場	平能克泰
4	木もれびの森自然観察会	NPO 法人相模原こもれび	7月4日(土)	木もれびの森(大野台)	秋山幸也
5	第4学年の理科学習(夏の星空の観察方法)	市立淵野辺小学校	7月14日(火)	淵野辺小	平能克泰
6	図書館活用講座「郷土を知る～さがみはら今昔～」	市立相模大野図書館	7月16日(木)	相模大野図書館	加藤隆志
7	夏の星空観察会	市立横山公民館	7月28日(火)	横山公民館	平能克泰
8	「相模原市の地学教材」研修講座	麻布大学	7月28日(火)	市立博物館	河尻清和
9	第4学年の生活学習(校内民俗資料室の展示物説明)	市立相模台小学校	7月30日(木)	相模台小	上原徹也
10	星空観察会と音楽の夕べ	市立青根中学校	8月1日(土)	青根中・青根地域センター	平能克泰
11	夏休み! 星空探検隊	市立城山公民館	8月9日(日)	城山公民館・市立相模丘中	平能克泰
12	みどりの講習会「相模原のクレマチスを守れ!」	財相模原市みどりの協会	8月22日(土)	市民健康文化センター	秋山幸也
13	第4学年の理科学習「夜空を見よう」	市立上鶴間小学校	8月25日(火)	上鶴間小	平能克泰
14	第4学年の理科学習(宇宙や天体について)	市立陽光台小学校	9月2日(水)	陽光台小	平能克泰
15	かんきょう学習セミナー「外来植物について」	市環境情報センター	9月6日(日)	環境情報センター	秋山幸也
16	第4学年の理科学習(月や星座の観察・記録方法)	市立二本松小学校	9月8日(火)	二本松小	平能克泰

平成21年度相模原市立博物館年報

17	第4学年の理科学習（月や星の観察のしかた）	市立弥栄小学校	9月9日(水)	弥栄小	平能克泰
18	第1学年の環境学習（星をテーマに）	市立富士見小学校	9月12日(土)	富士見小	平能克泰
19	サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト型学習活動「超火山を探る」	東京都立三田高等学校	9月13日(日) 11月14日(土)	三田高	河尻清和
20	田名志民講座「相模川が創った相模原台地」	市立田名公民館	9月20日(日)	相模川ふれあい科学館	河尻清和
21	第4学年の理科学習（月・星・宇宙について）	市立青葉小学校	10月1日(木)	青葉小	平能克泰
22	星が丘すずかけ学級「横浜開港150年の歴史－貿易から見た横浜の発展など－」	市立星が丘公民館	10月8日(木)	星が丘公民館	加藤隆志
23	自然教室「陣馬山で秋の草花を楽しもう」	神奈川県立陣馬自然公園センター	10月9日(金)	県立陣馬相模湖自然公園	秋山幸也
24	田名志民講座「田名の蚕と絹の道」	市立田名公民館	10月10日(土)	田名公民館	加藤隆志
25	麻溝さいかち学級「歴史から見た相模原と津久井」	市立麻溝公民館	10月15日(木)	麻溝公民館	加藤隆志
26	田名志民講座「絹の道をたずねて」	市立田名公民館	10月17日(土)	シルク博物館ほか	加藤隆志
27	第3学年の総合的な学習「とことん追究わたしたちのまち」	市立共和小学校	10月20日(火) 10月22日(木)	共和小	秋山幸也
28	新磯高齢者学級「新磯の石仏」	市立新磯公民館	10月22日(木)	新磯公民館	加藤隆志
29	全国大学博物館学講座協議会東日本部会大会パネルディスカッション「館務実習の現状」	全国大学博物館学講座協議会東日本部会	10月23日(金)	桜美林大学	河尻清和
30	第4学年の理科学習（月と太陽について）	市立淵野辺小学校	10月27日(火)	淵野辺小	平能克泰
31	田名向原遺跡旧石器時代学習館連続講座「相模川の石を学ぼう」	文化財保護課	10月31日(土) 11月7日(土)	田名向原遺跡旧石器時代学習館	河尻清和
32	星が丘すずかけ学級「相模原を知ろう－幕末・軍都計画・戦後の発展－」	市立星が丘公民館	11月12日(木)	星が丘公民館	上原徹也
33	スターウォッチング	市立津久井中央公民館	11月14日(土)	青根地域センター・市立青根中	平能克泰
34	第4学年の理科学習（星座の観察）	市立もえぎ台小学校	11月17日(火)	もえぎ台小	平能克泰
35	森づくりボランティア講座	㈱相模原市みどりの協会	12月13日(日)	市環境情報センター	秋山幸也
36	冬の星空観望会	市立東林公民館	1月16日(土)	東林公民館・市立東林小	平能克泰

平成21年度相模原市立博物館年報

37	星空観望会	市立桂北公民館	1月17日(日)	千木良公民館・市立千木良小	有本雅之
38	歴史講座「石仏調査から見える人々の暮らし」	市立上溝公民館	1月31日(日)	上溝公民館	加藤隆志
39	星空観察会	市立新磯公民館	2月6日(土)	新磯公民館・公民館周辺	有本雅之
40	歴史散策講座「江戸時代の 大山参り」	市立新磯公民館	2月6日(土)	新磯公民館	加藤隆志
41	冬の星空探検隊	市立城山公民館	2月14日(日)	市立相模丘中	平能克泰
42	星空観察会	市立横山公民館	2月20日(土)	横山公民館	有本雅之
43	親子で見る冬の星空観望会	市立星が丘公民館	2月28日(日)	星が丘公民館・市立星が丘小	有本雅之
44	神奈川県高等学校教科研究会 IODP アウトリーチプログラム 「Sand for Students」	神奈川県高等学校教科研究会理科部会・独立行政法人海洋研究開発機構	3月26日(金)	相模川河川敷・市立博物館	河尻清和
45	かんきょう学習セミナー「タンポ調査について」	市環境情報センター	3月13日(土)	環境情報センター	秋山幸也

1	※他に(継続的なものとして)	担当
2	相模原市市史編集委員会民俗部会	加藤隆志
3	相模原市市史編集委員会自然部会	秋山幸也、河尻清和
4	相模原市市史編集委員会考古部会	河本雅人
5	津久井町史編集委員会自然部会	秋山幸也
6	「県博物館協会機能研究部会幹事としての諸事業」	河尻清和
7	「子どもが主体的に学び、科学が好きになるための教育システムの開発に関する実証的な研究」	河尻清和
8	國學院大學文学部・兼任講師	加藤隆志
9	首都大学東京理学部・非常勤講師	河尻清和
10	女子美術大学・非常勤講師	河本雅人
11	中央大学博物館概論・講演講師(6/19単発)	河本雅人
12	相模川ふれあい懇談会世話役	秋山幸也
13	宮ヶ瀬ダム自然環境調査に関する懇談会	秋山幸也

1.1 市民との協働

(1) 市民学芸員

ア 内容 博物館活動に市民が参加する機会として、参加者を募集。前述の同講座により、博物館の基礎的な研修を受講した後、企画展、学習資料展等の展示準備作業と関連事業補助、クイズラリー運営等を実施した。

イ 登録者 34人

ウ 参加者 延べ 530人

(2) さがみはら水生動物調査会

ア 内 容 博物館で実施する相模川水系水生動物調査や資料整理、展示活動を協働で行うとともに、神奈川県が主体となって実施している相模川、酒匂川水系の水生物県民参加調査にも参加し活動している。

イ 登録者 15人

ウ 参加者 延べ 54人

(3) 相模原植物調査会

ア 内 容 市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、月1回程度の例会を行い、標本を使った植物分類の勉強会を行った。

イ 登録者 30人

ウ 参加者 延べ 350人

(4) 相模原地質研究会

ア 内 容 市内および周辺地域の地質調査や資料整理を行った。地質学講座や子ども鉱物教室など地質分野の教育普及活動を学芸員とともにを行った。

イ 登録者 10人

ウ 参加者 延べ 152人

(5) 相模原縄文研究会

ア 内 容 市内の縄文時代遺跡の調査と資料整理を行った。また、考古学講座の運営を博物館と協働で行なった。

イ 登録者 13人

ウ 参加者 延べ 268人

(6) 民俗調査会A (19年度結成)

ア 内 容 「大山道を歩く」及び「相模原民俗マップを作る」を企画し、フィールドワークを行いながらマップ作りの準備作業を行った。

イ 登録者 19人 (平成22年3月末現在)

ウ 参加者 延べ 188人 (毎月一回実施しているフィールドワークの参加人数)

(7) 民俗調査会B (19年度結成)

ア 内 容 21年度秋季企画展への参加として相模湖駅前から横浜・関内地区まで旧神奈川道に沿って歩き、その成果を企画展「市民と歩いた横浜への道」の資料として活用した。

イ 登録者 33人 (平成22年3月末現在)

ウ 参加者 延べ 224人 (毎月一回実施しているフィールドワークに参加した人数であり、展示の諸準備や「横浜への道発表会」に参加した者の人数は含んでいない)

Ⅲ 資料管理

1 博物館収蔵資料点数 (平成22年3月31日現在)

博物館収蔵資料点数リスト

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
考古	考古資料	考古資料収蔵庫等	5,454	箱	5,454
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	5,619	点	40,626
	歴史資料	生活資料収蔵庫	612	点	
	歴史資料	特別収蔵庫	9,228	点	
	古文書等市史資料	古文書収蔵庫	3,315	点	
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,740	点	
	購入資料	特別収蔵庫	112	点	
民俗・地理	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫・ 大型資料収蔵庫	17,394	点	24,828
	軍事資料		1,557	点	
	地図・写真資料	図面保管庫	5,877	点	
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	188	点	3,155
	岩石・薄片資料	地質資料収蔵庫等	865	点	
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	1,339	点	
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	323	点	
	砂礫・泥流堆積物資料等	地質資料収蔵庫等	438	点	
	文献	地質資料収蔵庫等	2	点	
動物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点	34,481
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	34,235	点	
	小動物等	液浸標本収蔵庫	140	点	
	鳥類	動植物資料収蔵庫	61	点	
	哺乳類	動植物資料収蔵庫	5	点	
植物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	43,170	点	43,176
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	点	
天文	スライド等	フィルム収蔵庫	2,042	点	2,042
二次資料	図書 ビデオ・CD-ROM, DVDソフト 歴史関係図書類	市民研究室等	38,642	点	42,406
		情報サービスコーナー	397	点	
		古文書収蔵庫	3,367	点	
合 計			196,168	点	

館内収蔵美術品資料点数リスト

館内収蔵美術品(文化国際課扱)

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
美術品	絵画	美術品収蔵庫	394	点	2,629
	書	美術品収蔵庫	55	点	
	彫刻	美術品収蔵庫	2	点	
	写真	フィルム収蔵庫	2,178	点	

館内収蔵市史資料(総務課市史編さん室扱)

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
市史資料	行政資料	古文書収蔵庫	600	点	600

博物館関連施設収蔵資料点数リスト

分野	分類	施設名	収蔵点数	単位	分野計
考古	考古資料	相模湖資料収蔵庫	205	箱	1,174
		津久井郷土資料室	354	箱	
		小原本陣・小原の郷	11	箱	
		城山郷土資料保管庫	444	箱	
		吉野宿ふじや	160	箱	
歴史	歴史資料	津久井郷土資料室	688	点	5,544
		尾崎罌堂記念館	3,816	点	
		小原本陣・小原の郷	276	点	
		城山郷土資料保管庫	95	箱	
		吉野宿ふじや	669	点	
民俗・地理	民俗・生活資料	津久井郷土資料室	14,503	点	16,946
		小原本陣・小原の郷	402	点	
		城山郷土資料保管庫	571	点	
		吉野宿ふじや	1,470	点	
動物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	点	115
合計			23,779	点	

2 資料・収集整理

分野	内容
考古	埋蔵文化財再整理(国庫補助事業)
歴史	寄贈・寄託(予定含む)古文書類、尾崎罌堂関係資料などの整理
民俗	市域の民俗資料の収集及び収蔵番号の整備などの諸整理
近現代	市域の近現代及び地理資料、特に生活資料及び軍事資料の収集・整理
動物	収集した動物資料の標本化及び種名の同定などの博物館資料として利用可能とする作業 適正な保管を目的とした点検及び同定ラベル補充などの整理作業
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理、政木淑人コレクション植物標本の整理
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理 寄贈資料(火山灰、故貝塚爽平氏研究資料)の整理・データベース化
天文	天文現象・太陽画像の撮影 インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集
情報	他博物館より送付された刊行物の整理

3 購入資料

区 分	内 容
学術雑誌	考古学ジャーナル、月刊むし、天文月報等の専門雑誌22種 (市民研究室、天文研究室で開架)
新刊書籍	市民研究室、天文研究室、情報サービスコーナーへの配架用として51冊。
博物館資料	動物剥製作成9点 (アカネズミ・ジネズミ・ドブネズミ・ガビ チョウ・アカシヨウビン・ルリビタキ・ムササビ・ハクビシ ン・テン)

4 有害生物管理の実施

(1) 受入れ資料のくん蒸

年3回、受入れ資料を対象に洗浄乾燥室においてガス薬剤(アルプ)を用いた定期的な被覆くん蒸を実施した。

(臨時) 津久井郷土資料室及び博物館バックヤード

収蔵・展示環境適正化のための津久井郷土資料室1室の被覆くん蒸ではガス薬剤(アルプ)を、博物館バックヤード1階の殺虫処理では樹脂板蒸散剤(ジクロロボス)を用いて3月下旬に実施した。

(2) 有害生物調査

通年にわたり、収蔵庫および作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

5 資料の特別利用

利用総件数 74件 (平成21年度中に利用申請されたもの)

資料	区分	利用期間	申請者	目的
絵葉書 (津久井郷土資料室架蔵)	撮影	4月3日	平塚市博物館	展示資料 刊行物掲載
昭和16年航空写真 他	撮影	4月16日	個人	調査研究
昭和32年地形図 (1/25000・原町田)	複写	4月24日	社会保険相模野病院	調査資料
富士吉岡軽石 (MJA0253)	館外貸出し	5月7日 ～6月2日	神奈川県温泉地学研究所	論文作成
勝坂式土器	撮影	5月8日	市教委文化財保護課	刊行物掲載
昭和49・54年航空写真 他	閲覧	5月20日	市資産税課	行政事務
旧相原村・旧麻溝村・旧新 磯村・旧大野村・旧上溝町 役場文書	館外貸出し	5月26日 ～5月31日	市総務課市史編さん室	資料調査
昭和55年航空写真 他	閲覧	5月28日	市資産税課	行政事務

平成21年度相模原市立博物館年報

旧相原村・旧麻溝村・旧新磯村・旧大野村・旧上溝町役場文書	館外貸出し	6月1日 ～7月1日	市総務課市史編さん室	資料調査
鈴木重光氏旧蔵資料他 津久井郷土資料室収蔵資料の複製写真	その他	6月3日～(常時)	神奈川県立公文書館	公開利用
佐藤好成家寄贈資料	館外貸出し	6月6日 ～7月4日	市総務課市史編さん室	資料調査
昭和11年航空写真 他	撮影	6月9日	個人	調査研究
昭和46・47年航空住宅地区図 他	館外貸出し	6月18日 ～6月30日	市総務課市史編さん室	資料調査
田名向原遺跡出土石器 勝坂遺跡出土石器・石器	撮影	6月18日	個人	論文作成
航空写真	閲覧	6月19日	市資産税課	行政事務
昭和21～30年航空写真 他	閲覧	7月2日	市資産税課	行政事務
明治32～大正2年村会ニ関スル報告書類	閲覧	7月8日	個人	調査研究
昭和49年航空写真 他	撮影	7月14日	市土地利用調整課	行政事務
足踏みミシン 他	撮影	7月15日	神奈川県立相武台高校	授業教材
相模原市地形図(1/3000)	複写	7月16日	個人	調査研究
明治44～大正6年議案及び決議書 他	閲覧	7月17日	個人	調査研究
縄文土器	館外貸出し	7月22日 ～7月31日	神奈川県立相模原総合高校	授業教材
昭和17年航空写真 他	複写	7月25日	NPO法人 境川の斜面緑地を守る会	刊行物掲載
脱穀機 他	撮影	7月29日	個人	課題研究
昭和44年航空写真	閲覧・撮影	7月31日	市資産税課	行政事務
昭和52年航空写真 他	閲覧・撮影	7月31日	市資産税課	行政事務
相模原市地形図(1/3000)	閲覧	8月2日	個人	調査研究
昭和22年地形図 他	閲覧	8月4日	個人	調査研究
剥製標本(キツネ・タヌキ)	館外貸出し	8月7日 ～8月9日	市立中沢中学校	研修資料
津久井湖展示写真	撮影	8月12日	個人	課題研究
醤油搾り関係資料	館外貸出し	8月13日 ～9月13日	個人	刊行物掲載
景観調査アルバム(鉄道駅) 他	閲覧	8月13日	個人	調査研究
小川忠久氏寄託資料 他	閲覧・撮影	8月16日 ～8月21日	個人	授業教材
中村遺跡C区第V文化層出土石器	撮影 館外貸出し	8月25日 ～12月11日	岩宿博物館	資料展示 刊行物掲載
今井清氏寄贈資料	その他	9月1日	市総務課市史編さん室	刊行物掲載

平成21年度相模原市立博物館年報

常設展示解説書図版「関東地方の地質」他	その他	9月1日～	個人	ホームページ掲載
勝坂遺跡第45次調査出土土器他	館外貸出し	9月7日 ～2月10日	国立歴史民俗博物館	資料展示 刊行物掲載
昔の相模川及び周辺の風景写真（津久井郷土資料室収蔵資料）	撮影	9月12日 ～11月3日	市立相模川ふれあい科学館	展示資料
昭和34・39年学校給食レプリカ他	館外貸出し	9月15日 ～10月3日	(財)日本ユニセフ協会神奈川県支部	展示資料
唐箕	館外貸出し	9月24日 ～11月27日	市農林課	講座資料
アルバム相模湖・藤野 No.2	館外貸出し	9月17日 ～10月16日	市相模湖町地域自治区事務所	刊行物掲載
地域史資料	撮影	10月2日	市立総合学習センター	教材制作
久保田昌孝氏寄託資料	複写	10月10日	相模原公民館史研究会	調査研究
下中丸遺跡出土土器	撮影	10月14日	富士見市立水子貝塚資料館	調査研究
勝坂遺跡第45次調査出土土器	館外貸出し	10月14日 ～3月31日	国立歴史民俗博物館	調査研究
石川寿美恵氏寄贈資料	複写	10月22日	市教委生涯学習課	講座資料
下中丸遺跡出土土器	撮影	10月30日	富士見市立水子貝塚資料館	調査研究
橋本遺跡出土礫群礫他	閲覧	11月1日	個人	調査研究
小倉村大絵図	撮影	11月6日	神奈川県津久井土木事務所	行政事務
オキヌサマ人形他	撮影	11月17日 ～11月20日	市総務課市史編さん室	調査研究
昭和59年航空写真他	撮影	11月25日	市立谷口小学校創立三十周年実行委員会	刊行物掲載
荒井一雄氏寄託資料	複写	12月1日 ～12月10日	市総務課市史編さん室	刊行物掲載
昭和60年航空写真	撮影	12月2日	市立谷口小学校創立三十周年実行委員会	刊行物掲載
佐藤和夫氏寄託資料	館外貸出し	12月19日 ～1月18日	市総務課市史編さん室	調査研究
昭和30年航空写真他	閲覧・接写	12月25日	市建築審査課	行政事務
田舟他 (城山文化財収蔵施設保管)	撮影	12月末～	個人	ホームページ掲載
今井清氏寄贈資料	その他	1月5日	市総務課市史編さん室	刊行物掲載
橋本遺跡出土土偶	その他	1月5日	(株)ぎょうせい	刊行物掲載
昭和22・23年航空写真	閲覧・接写	1月6日	個人	調査研究

平成21年度相模原市立博物館年報

尾崎行雄書跡	撮影	1月8日	長岡市立中央図書館文書資料室	調査研究
写真(自動車文庫「さがみ号」他)	館外貸出し	1月12日 ～2月10日	(有)オフィス・キャラヴァン	刊行物掲載
下中丸遺跡出土蛇装飾・猪装飾土器	館外貸出し	1月15日 ～3月31日	富士見市立水子貝塚資料館	資料展示
下原遺跡縄文土器	撮影・模写	1月22日	個人	作陶資料
一遍上人立像(ポジフィルム)	館外貸出し	1月26日 ～2月26日	(株)山川出版社	刊行物掲載
大地開戸遺跡出土土器 他	館外貸出し	2月9日 ～3月9日	(財)かながわ考古学財団	刊行物掲載
写真(津久井城跡御屋敷跡出土の近世礎石建物跡他)	館外貸出し	2月16日 ～3月16日	(株)有隣堂	刊行物掲載
明治19年迅速測図(厚木町) 他	複写	2月18日 ～3月25日	市教委生涯学習課	講座資料
写真(横浜波止場より海岸通異人館之真図)	館外貸出し	2月19日 ～3月19日	市教委文化財保護課	文化財案内板掲載
田名向原遺跡出土石器群	撮影・計測	2月21日	明治大学博物館	調査研究
上溝本町自治会寄託資料	その他	2月22日	(株)郷土出版社	刊行物掲載
裁縫箱 他	館外貸出し	3月12日 ～3月24日	(財)相模原市都市整備公社	資料展示
開墾用オオグワ 他	その他	3月13日	市総務課市史編さん室	刊行物掲載
昭和33年相模原パノラマ写真	複写	3月27日 ～4月2日	オークラフロンティアホテル海老名	講習会資料
篠崎紗知子氏寄贈資料	撮影	4月3日 ～4月18日	古文書を読む会	学習会資料

IV 調査研究

分野及び調査者	内容と成果
考古資料の調査 河本 雅人	大日野原遺跡の発掘調査を実施し、(中央大学との共同調査)縄文時代中期の集落跡の一部を検出した。 塩田遺跡第1次調査の旧石器及び縄文時代資料を調査し、「相模原市史ノート」第7号に発表した。
民俗資料の調査 加藤 隆志	津久井地域の祭礼・行事の調査 秋季企画展開催に伴う周辺博物館での展示資料調査を行い、また民俗調査会とともに相模湖町から横浜市域までのフィールドワークを行い、その成果を21年度企画展に活用した。 『相模原市史民俗編』に「土地利用の状況と変貌」「田畑の維持と農業」の項を執筆した。
近現代資料 上原 徹也	旧市域及び津久井地域の生活資料、軍都関連資料を調査、収集し、学習資料展に反映させた。 貝塚氏寄贈地図の整理、データ化を進めた。
植物資料の調査 秋山 幸也	市内の維管束植物などの植物相調査 津久井地域の植物相について暫定的なリスト(第3報)を研究報告に発表
地質資料の調査 河尻 清和	相模原市周辺の秩父帯、四万十帯、南部フォッサマグナ、中津層群を調査した。藤野地域に分布する南部フォッサマグナ名倉玄武岩類について博物館研究報告19集にて発表した。 町田氏寄贈の火山灰資料の調査
天文資料の調査 杉本 芳秋 平能 克泰 有本 雅之	ペルセウス座IU星のCCD測光観測を実施した。 プラネタリウム学習投影教材のデジタル化(プロジェクターの活用)

V 展示改修

1 展示検討委員会

(1) 趣 旨

博物館常設展示の大規模改修にあたり、新市にふさわしい展示内容と新たな展示手法について検討する機関

(2) 委員構成 任期2年（平成19年9月13日～平成21年9月12日）

氏 名	備 考	選出区分
山 本 育 夫	NPO法人つなぐ理事長	展示
鈴 木 良 明	鎌倉国宝館館長	委員長 人文
原 和 之	あじさい大学歴史科講師	
木 場 英 久	桜美林大学准教授	自然
安 川 源 通	NPO法人里山津久井をまもる会理事	
若 宮 崇 令	川崎市八ヶ岳少年自然の家副所長	副委員長 天文
山 口 文 男	高等学校教諭	学校教育
今 井 正 巳	中学校教諭	
児 玉 哲 男	小学校教諭	
安 達 桂	一般公募	
永 田 基 浩		

(3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	9月11日（金）	展示リニューアル計画の今後について

平成21年度相模原市立博物館 年報
 発行日 平成22年4月1日
 相模原市立博物館
 住所 〒252-0221 相模原市中央区高根3-1-15
 TEL 042-750-8030
 FAX 042-750-8061
 e-mail hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp
 URL <http://www.remus.dti.ne.jp/~sagami/index.htm>